

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-4961

(P2001-4961A)

(43)公開日 平成13年1月12日(2001.1.12)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 2 C 5/22  
5/16

識別記号

F I

G 0 2 C 5/22  
5/16

テ-マ-ト(参考)  
2 H 0 0 6

**【特許請求の範囲】**

【請求項1】装着面前方から後方に向かって、ほぼ、頭蓋骨の曲線に沿う形で、しだいに内側に湾曲してゆく超弾性素材よりなるテンプルは、ヨロイ部と共にレンズ後方水平に保持停止させるヒンジ連結部を有し、該ヒンジ連結部に於いて、該テンプルを後方水平状態から、下方を経由し、レンズ前方で水平停止状態になるまで約180度回動し、前方水平状態から、更に、テンブルエンド部を、取付部分と反対側のレンズ裏面に下方より曲げ廻り込ませ、レンズ裏面と、パッド足部により挟持停止させる事を特徴とする、折畳みメガネフレーム。

【請求項2】前記ヨロイ部が、メガネフロント部取付場所から、横に水平に突出し、該突出状態から後方水平方向にしだいに内側に緩やかに湾曲する、超弾性素材よりなる事を特徴とする請求項1記載の折畳みメガネフレーム。

【請求項3】前記、超弾性素材が、 $\beta$ -チタン合金である事を特徴とする請求項1及び2に記載の折畳みメガネフレーム。

【請求項4】前記テンブルエンド部をカール状に丸くしたことを特徴とする請求項1記載のメガネ。

【請求項5】テンブル部とヨロイ部のヒンジ連結構造であって、該ヨロイ端部と、端部上面にストッパーを設けた該テンブルを垂直に重ね合せて、回動可能にネジで螺着し、該テンブルをフロントフレーム後方水平状態から、連結部分を中心として、下方を通りレンズ前方に約180度回動可能としたヒンジ連結構造。

**【発明の詳細な説明】**

**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、新規な折りたたみメガネフレームの構造に関する。

**【0002】**

【従来の技術及び本発明が解決しようとする課題】従来より、メガネを外して持ち歩く場合に於いては、ケースに入れるか、ポケットもしくは、バッグに入れて持ち運ぶ訳で有るが、ケースに入れると嵩張り、そのままポケット等に入れて持ち歩くと、レンズ表面が傷ついたり、ポケットの中でバタついたり邪魔になることが多かつた。

【0003】又、簡単に折畳める簡易型の眼鏡に於いては、持ち運びには便利であるが、逆に掛けている時にはズリ落ち易く、スポーツ等の激しい運動には、適さなかつた。

**【0004】**

【課題を解決するための手段】本発明は、持ち運びが不便、ズリ落ち易い、という上記二つの課題を一挙に解決する為に、装着面前方から後方に向かって、ほぼ、頭蓋骨の曲線に沿う形で、しだいに内側に湾曲してゆく超弾性素材よりなるテンブルは、ヨロイ部と共にレンズ後方水平に保持停止させるヒンジ連結部を有し、該ヒンジ連

結部に於いて、該テンブルを後方水平状態から、下方を経由し、レンズ前方で水平停止状態になるまで約180度回動し、前方水平状態から、更に、テンブルエンド部を、取付部分と反対側のレンズ裏面に下方より曲げ廻り込ませ、レンズ裏面と、パッド足部により挟持停止せる事を特徴とする構造を採用する事により、上記課題の解決を図った。

**【0005】**

【実施例】以下、本発明の実施例を図によって詳細に説明する。

【0006】図1は、第一の実施形態の全体斜視図であり、装着面前方から後方に向かって、ほぼ、頭蓋骨の曲線に沿う形で、しだいに内側に湾曲してゆく超弾性素材よりなるヨロイ部2と、ストッパー(停止片)6、6aを設けたテンブル1、1aをヒンジ部3を介して、後方水平状態から、下方(矢印)を通り、レンズ前方に約180度回動させた状態を示しており、

【0007】図2は、更に、前記前方水平状態から、テンブルエンド部を取付部分と反対側のレンズ裏面に下方より曲げ廻り込ませ、レンズ裏面と、パッド足部5により挟持停止させた状態を表しており、レンズ4表面を保護し、且つ、コンパクトに折畳み収納可能となり、テンブルもバタつくことなく、しっかりと収納される。

【0008】図3は、前記の図2のパッド足部5にテンブルエンド部分を収納した平面図であって、しっかりと、左右のテンブル1、1aでレンズ面を保護し、コンパクトに折畳まれており、持ち運びにも便利である。

【0009】又、超弾性素材をテンブルに使用してあるので、図3の状態からテンブルエンド部を下に少し押すだけで、テンブル1、1aは元の前方水平状態に復元する。

【0010】図4はテンブルを、任意の角度に前方に回動した状態で、台7等に置いた側面図であって、倒れ難く安定が良いので、レンズ表面をこする事も無く、又、見栄えも良いので、店頭展示等の際にも非常に役に立つ。

【0011】図5は、本発明のメガネを掛けた時の上方から見た、平面図であって、湾曲する超弾性素材よりなるテンブル1、1aを広げて、耳の後ろの頭蓋骨部分で、テンブルの弾性を利用して掛ける為に、安定性が非常に良く、スポーツ等の激しい運動をしても外れ難い。

【0012】又、この掛けた状態に於いては、ヒンジ部3の機能により、ヨロイ部2もしくは、レンズ4、4aを前方に回動出来る為、角度の調整が可能となり、老眼に使用する場合には、非常に有効となる。

【0013】図6(イ)は、外側にカールさせた、テンブルエンド部に樹脂コーティングした要部斜視図で、(ロ)は、樹脂で短モダン形状にした要部斜視図であるが、一参考図であって、勿論この形状にとらわれるものではない。

3

【0014】図7は、ヨロイ2とテンプル1aのヒンジ連結構造部分の要部斜視図であって、該ヨロイ端部と、端部上面にストッパーを設けた該テンプルを垂直に重ね合せて、回動可能にネジで螺着し、該テンプルをフロントフレーム後方水平状態から、連結部分を中心として、下方を通りレンズ前方に約180度回動可能としたヒンジ連結構造で、この方法によると、前記したように、逆にテンプル部を固定して、ヨロイ付のレンズ角度を調整できると言う、二次的な効果が得られる事となった。

【0015】なお、本発明で使用される素材は、 $\beta$ -チタン合金の中から選ばれる材料が最も好ましい効果を奏する。

【0016】図1から図5迄に描かれたメガネの形態は、ツーポイント（縁無し眼鏡）であるが、勿論リム付のメガネフレームであっても同じく、この方法は有効に機能する事は言うまでもない。

【0017】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する。

【0018】すなわち、上記構造を採用する事により、コンパクトに折畳み可能で、レンズ表面を傷つける事もなく、持ち運び出来る。

【0019】また超弾性素材のテンプルはそのバネ性が非常に高いため折り曲げ回り込ませた該テンプルをメガネを再度装着するときに元に戻る特徴があり且つバネ性が適度の締め付けにて装着者の掛けごこち感を供与している。

【0020】又、レンズ面の角度調整が可能であるの

4

で、老眼鏡として、近くを見る時にも非常に便利である。

【0021】以上の様に、幅広い活用が期待できる、新規な折畳みメガネフレームである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のメガネフレームの斜視図

【図2】本発明の連結構造のテンプルを折りたたんだ斜視図

【図3】本発明のテンプルを折りたたんだ時の上部平面図

【図4】本発明のテンプルを任意の位置で曲げたときの側面図

【図5】本発明のメガネを掛けた時の平面図

【図6】本発明のテンプルエンド部の要部拡大図

【図7】本発明のヒンジ部の要部拡大面図

【符号の説明】

1、1a テンプル

2 ヨロイ（部）

3 ヒンジ部

20 4、4a レンズ

5 パッド足部

6、6a ストッパー

7、台（展示用又は机）

8、ブリッジ

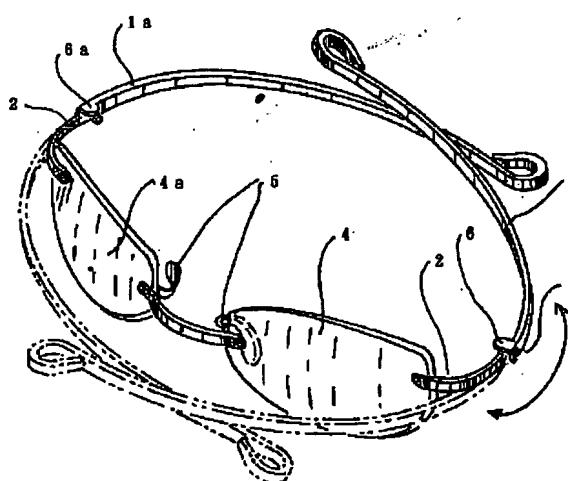
9、樹脂コーティングしたテンプルエンド部

10、樹脂短モダン

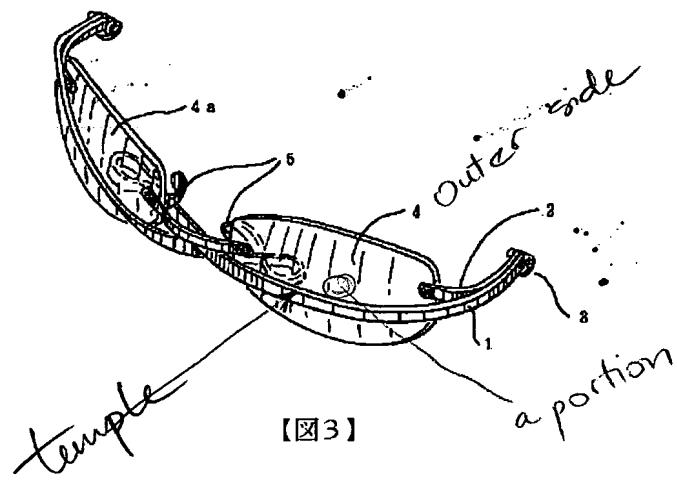
11、ネジ

12、頭蓋骨

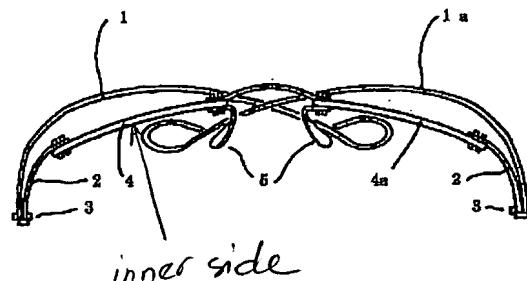
【図1】



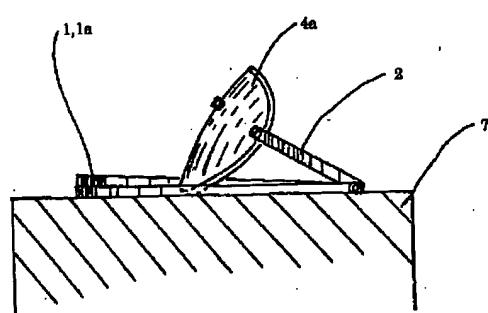
【図2】



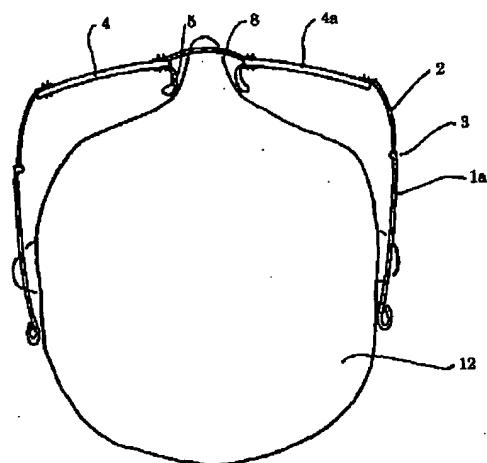
【図3】



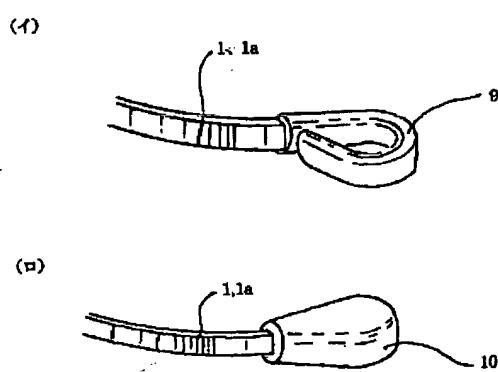
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

